

事務事業名		乳幼児歯科保健事業		☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業											
政策体系	政策名	04 安心が確保されたまちづくりの推進		事業期間		予算科目											
	施策名	15 子育て支援の推進				会計	款	項	目	事業							
	基本事業名	01 子どもの心身の健やかな成長支援		☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 平成9 年度～) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		01	04	01	01	27							
	根拠法令	母子保健法															
所属	部課名	生活福祉部健康推進課															
	課長名	菅原 松子															
	係名	母子保健係	電話	0192-27-1581													
	担当者	近藤 奈々恵	内線	437													
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)											全体計画(※期間限定複数年度のみ)						
乳幼児の保育者に歯科保健の重要性を啓蒙し、日常生活の中で口腔衛生を保つために必要な知識の習得を目的に実施している。 1歳6か月児・3歳児健康診査と、市内医療機関へ委託し2歳6か月児歯科健康診査を実施。7か月児歯科保健指導での歯科衛生士による個別指導や、満5歳になる幼児を対象に「こんにちは6歳臼歯」を配布している。 主な業務は、健診日程の計画、歯科医への協力依頼、対象者への案内、未受診者への受診勧奨、健診会場準備、う歯有病率等の把握と報告、1歳6か月児・3歳児歯科健診時の歯科医へ報酬支払い事務、2歳6か月児歯科健診委託料の支払い事務である。 事業費は、歯科医報酬、歯科衛生士謝礼、2歳6か月児歯科健診委託料、配布用リーフレットや歯ブラシ等消耗品費であり、「こんにちは6歳臼歯」は、岩手県歯科医師会より無料で配布している。											総 投 入 量 (千 円)	事業 費 財 源 内 訳	国庫支出金				
都道府県支出金																	
地方債																	
その他																	
一般財源																	
											事業費計(A)	0					
											人件費	正規職員従事人数					
												延べ業務時間					
												人件費計(B)	0				
												トータルコスト(A)+(B)	0				

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動)		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)
前年度実績(前年度に行った主な活動)		名称 単位
1歳6か月児・3歳児・2歳6か月児歯科健康診査の実施。7か月児健康相談での個別歯科指導。満5歳児を対象に岩手県歯科医師会作成の冊子「こんにちは6歳臼歯」を配布。		ア 1歳6か月児・3歳児健診実施回数 回
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ 2歳6か月児歯科健康診査受診回数 回
通常どおり		ウ 7か月児歯科健康相談実施回数 回
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)
7か月児・1歳6か月児・2歳6か月児・3歳児・5歳児とその保育者		名称 単位
		カ 1歳6か月児・3歳児健診対象者 人
		キ 2歳6か月児歯科健康診査対象者 人
		ク 7か月児歯科健康相談対象者 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)
乳幼児の保育者が、日常生活の中で口腔衛生を良好に保つために必要な知識を習得・実践し、乳幼児のう歯を予防する。		名称 単位
		サ 1歳6か月児健診・3歳児健診でのう歯有病者率 %
		シ 1歳6か月児・3歳児健診での一人当たりう歯本数 本
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		ス 2歳6か月児歯科健康診査でのう歯有病者率 %
疾病を予防し、早期治療が受けられる。		

(2) 総事業費・指標等の推移										
			年度 単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円						
			都道府県支出金	千 円						
			地方債	千 円						
			その他	千 円						
			一般財源	千 円	1,347	1,266	1,210	1,386	1,265	1,300
		事業費計 (A)		千 円	1,347	1,266	1,210	1,386	1,265	1,300
	人件費	正規職員従事人数	人	8	10	9	9	9	8	
		延べ業務時間	時 間	545	346	399	420	435	400	
		人件費計 (B)	千 円	2,180	1,384	1,596	1,680	1,600	1,600	
		トータルコスト(A)+(B)		千 円	3,527	2,650	2,806	3,066	2,865	2,900
⑤活動指標			ア	回	12・12	12・12	12・12	12・12	12・12	12・12
			イ	回	192	208	199	256	186	250
			ウ	回	12	12	12	11	12	12
⑥対象指標			カ	人	251・268	255・233	247・254	231・261	234・250	250・250
			キ	人	192	250	259	197	232	250
			ク	人	151	257	226	221	270	230
⑦成果指標			サ	%	7.2・39.7	2.0・46.6	4.9・38.6	4.0・37.1	3.6・34.3	1.0・30.0
			シ	本	0.26・1.64	0.06・1.83	0.09・1.52	0.10・1.54	0.09・1.4	0.01・1.2
			ス	%	20.8	16.8	15.6	20.8	21.0	10.0

事務事業ID	0290	事務事業名	乳幼児歯科保健事業
--------	------	-------	-----------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
母子保健法に基づき市町村で実施。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
当市は県内でも乳幼児のう歯が多く、法に基づく歯科健診だけでなく、う歯予防のために歯科保健指導や健診後の訪問活動にも力を入れている。
また機構改革に伴い、平成27年度より担当課が保健介護センターから健康推進課となっている。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
特になし。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	乳幼児の口腔衛生を良好に保つことが、子どもの健やかな成長へとつながる。	
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	母子保健法に基づく事業であり、生涯にわたる健康づくりの基盤となる事業である。	
有効性 評価	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	歯の健康を守る上で適切な時期に事業が実施されている。	
	④ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	歯科保健指導の方法等を改善することで、う歯本数や有病率の減少が期待できる。	
有効性 評価	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	乳幼児の口腔衛生を良好に保つための支援の場が失われる。	
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	類似事業がない。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	乳幼児の歯科保健指導の必要最低限の事業費であり、これ以上の削減はできない。	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	乳幼児健診の一環として歯科保健事業が実施されている。対象が小児科医・歯科医・保健師・栄養士等による総合的な指導を受けるという母子保健法の趣旨を考えると、委託事業により人件費等が削減できても、受診者へのサービスの低下やトータルな指導になりえないデメリットが生じる。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	母子保健法に基づく事業であり、現状が望ましい。	

事務事業ID	0290	事務事業名	乳幼児歯科保健事業
--------	------	-------	-----------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	有病率や一人当たりの歯本数は減少傾向にあるが、まだ県平均との差が大きい。1歳6か月児健診後、3歳児健診までの間に歯に罹患する者が大幅に増加することから、保護者の歯予防への関心を高められるような取り組みが必要である。2歳6か月児歯科健康診査の案内を送付する際には、問診票とともに仕上げ磨きの方法が記載されたリーフレットを同封し、歯予防の啓発に努め、未受診者には受診勧奨を実施した。																							
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)		(4) 改革・改善による期待成果																						
☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 歯に罹患する者が増える2歳台に実施される2歳6か月児健診の機会を利用し、引き続き家庭でできる取り組みについてのリーフレットを受診票とともに送付する。また、受診勧奨を行い、未受診者がないように働きかけ、歯罹患者が増える時期に正しい歯科保健指導を受けられるように努める。		左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		●																					
	維持			×																				
	低下		×	×																				
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																								
各健診の未受診者への受診勧奨を行うだけでなく、必要に応じて個別訪問を行うなどの検討を行っていく。																								

4 事務事業の2次評価結果

(職 名) ※原則として施策の主管課長	(氏 名)
2次評価者 健康推進課長	菅原松子

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合																						
①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☒ 一部記述不足のところがある ☐ 記述は十分なされている ②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																						
(2) 2次評価者としての評価結果	(3) 評価結果の根拠と理由																					
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	適切な事務執行がなされているが、事業実施方法の見直しにより一層の事業効果が見込まれる。																					
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)	(5) 改革・改善による期待成果																					
☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 成果向上を図りつつ、継続して事業を実施する。	左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		●																			
	維持			×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項